

# 魅力あるまちづくりに 欠かせない「公園」について

齊藤 晋一 議員

公園の保守点検について

**質問** 公園遊具の種類や設置数は、事故等の懸念などで減少傾向にあると思いますが、公園遊具の保守点検について伺います。

**答** 保守点検は全ての遊具を年に1回、公園施設製品安全管理士や公園施設製品整備技士などが在籍する

業者へ委託し実施しています。また、公園管理受託業者が、日常的に目視や触診により点検を行っています。

**要望** 公園遊具は、子どもの運動能力や危機察知能力などを養うために大変重要であり、公園の魅力そのものです。子どもたちの要望に沿って安心な遊具を増や

すよう要望します。

**質問** 公園は、健康増進に取り組む高齢者の方も多く利用されていると思います。健康遊具の設置状況について伺います。

**答** 健康遊具を2か所の公園に8基設置しています。また、2か所の公園と城沼つつじ緑道には、背伸ばしベンチを設置しています。  
**要望** 健康寿命の延伸のためにも、高齢者が集う場所に健康遊具を設置するよう

要望します。

**質問** 公園は、災害時には避難者の生活拠点となりますが、かまどの機能を兼ね備えたベンチの設置について伺います。

**答** 市内には18か所の公園が緊急避難場所に指定されており、防災かまどベンチ等に代表される災害対策施設について、今後研究したいと考えます。  
**質問** 近隣住民の意見や利

用者の要望を取り入れ、地元のイベントなども開催できる地域密着型公園の考えについて伺います。

**答** 公園のあり方を見直す際には、地元の方々にも参加していただくなど、よりよい公園づくりを進めたいと考えます。

**要望** 公園は夢の広がる空間施設であり、住民の要望に添った公園が必要です。公園を、緑と人が輝き潤いのある身近な施設に育てるよう要望します。

# 歴史の小径の現状と課題、 今後の取り組みについて

小林 信 議員

観光客を歩かせる自信は?

**質問** 歴史の小径のパンフレットに、「館林駅前から館林城土橋門を結ぶ約1.5キロメートルの道、江戸時代の風情を感じることが出来ます」と記され、まちなか散策ガイドには、「館林を訪れる人々に隠れた魅力に触れていただこうと、

駅からつつじが岡公園まで、城下町・町屋の面影を訪ねるモデルルートを設定」とありますが、観光客をこの小径に誘導して、つつじが岡公園まで向かわせる自信はありますか。現状は、歴史とは名ばかりで何もないと言っても過言ではありませんが、今後どのように展開

しようとしているのですか。

誘客につなげる試みを

**答** 観光分野においては、旧秋元別邸のライトアップなど、駅前からつつじが岡公園までの動線をより魅力的に演出し、誘客につなげるための試みを行いながら、今後も更なる工夫を重ね、四季を通じて市民や観光客に楽しんでいただけるまちにしたいと考えています。

プロジェクトを立ち上げ

**質問** 館林市の中心市街地を全体として活性化させて

点をつなぎ面にしていく

**答** 城下町らしい歴史的街並みを大切にしてい

いくためには、まちなかにある歴史の小径を中心としたエリアのにぎわいを取り戻す取り組みが必要だと思えます。そこで、当然関係各課より招集したプロジェクトチームを立ち上げ、責任を持って専門的に中心市街地の活性化を図っていくべきですが、活性化のための取り組みについてお聞かせ下さい。

夕にかなうものではありませんので、市民の皆様の手を強く支援していきます。